

かていがくしゅう 家庭学習の

てびき 手引き

うちひと いっしょよ ほぞんぼん
お家の人と一緒に読みましょう(保存版)



たてばやししりつだいいちしょうがっこう
館林市立第一小学校

家庭学習の手引き

館林市立第一小学校

1. 家庭学習の手引き作成について

小学校の学習は、将来子ども達が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになります。そこで、従来までの家庭学習の手引きを改めて見直し、改善したものを作成しました。

2. 家庭学習は何のためにするのでしょうか。

学習の習慣化

毎日学習する習慣をつける。

習熟

計算・漢字などの練習しなくては身に付かない学習をしっかりとできるようにする。

定着

学校で習った勉強をしっかりと身に付けるため。

自立

自分のために自分で勉強できる子になるため。

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣をつけるためにとても大切なものです。小学校のうちに机に向かう習慣が、後々に家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身に付けましょう。

3. 家庭学習の手順

- ①学ぶための環境づくり テレビをつけながら学習しても効果はあがりません。できるだけ同じ時刻に机に向かうようにし、机の上を整理して取り組みましょう。
- ②まずは宿題 担任から出る「宿題」を最初にやりましょう。
- ③次に自主学習 家庭学習の手引きの中から、選んでやりましょう。
- ④次の日の準備 勉強が終わったら、次の日の準備をしましょう。

4. 家庭学習の時間の目安は

10分×学年+10分です。

1年生なら 10分×1+10分=20分間。6年生なら 10分×6+10分=70分です。

5. 家庭学習 習慣化のためのポイント

低学年

低学年の子ども達は、何でも知りたがっています。がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。しかし、一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。

ポイント: **いっしょにして、やる気をおこす。**

家族の人といっしょに、学習することややり方を決めましょう。できたことをほめることによって、意欲を高めることができます。いっしょにできないときは、あとで目を通して声をかけてあげましょう。

中学年

中学年になると、何にでも興味を示し、行動範囲も広がります。好きなことに熱中するようになります。自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。

ポイント: **認めて、ほめて、自信をつける。**

家族の温かいアドバイスや励ましの言葉がやる気を起こします。宿題を見るなど手助けして応援すると、徐々に自分でできるようになります。

高学年

高学年になると、自分ではできると思っているので、かける言葉に配慮が必要です。得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。体も心も急激に成長しますが、バランスがくずれて、不安定になることもあります。成長を見守ってほしいと思っています。

ポイント: **見守って、伸ばす。**

子どもの話をよく聞き、成長を見守ることで、目標や将来の夢に向かって努力するようになります。他の子と比べないで昨日のわが子と比べ、ちょっとしたがんばりをほめましょう。

親が ちょっぴり 変わると

子どもが自信をもち、学校での授業も意欲的になります。

子どもは、はじめから自分で学習する力を身に付けているわけではありません。周囲の大人が手助けし、「よくやったね」「がんばったね」の言葉がけが、家庭学習の意欲を生み出します。学校と家庭で協力し、子ども達に確かな学力を身に付けていきましょう。